

令和 7 年度 政務活動費支出整理簿

会派名 新緑・無所属の会

氏名 吉田 淳一

項目	研修費		
費目	旅費		
整理番号	月 日	支出額 (円)	支 出 内 容
1	7 / 23	36,070	八戸セミナー2025 旅費・宿泊費（愛知県名古屋市） （日程、場所等は調査視察等届出書等に記載）
	/		JR乗車券・特急券 鮫⇒名古屋25,680円 宿泊代 10,390円 合計36,070円
2	2 / 11	166,080	地方議会議員研究会 旅費・宿泊費（大阪府大阪市） （日程、場所等は調査視察等届出書等に記載）
	/		JR乗車券・特急券 本八戸⇔大阪55,480円 宿泊代 27,350円 合計82,830円
	/		JR乗車券・特急券 鮫⇔大阪55,900円 宿泊代 27,350円 合計83,250円
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
小計		202,150	備 考
合計		202,150	

※案分による支出の場合は、案分率等を支出内容欄に記入してください。

第3号様式 (第6条、第8条関係)

令和7年7月9日

会派名 新緑・無所属の会  
代表者名 伊藤 圓子 様

氏 名 吉 田 淳 一



### 調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

1 旅行者 吉 田 淳 一 議員

2 期 間 令和7年7月23日 (水)

3 場 所 愛知県名古屋市

4 目的及び内容 八戸セミナー2025

5 支出可能額 (上限額) 47,020円

【内訳は、旅費額計算書 (第4号様式) に記載のとおり】



# 八戸セミナー2025 行程

・日程：令和7年7月23日（水）

・場所：愛知県名古屋市

【吉田 淳一 議員】

月日	行程	宿泊地
7月23日 (水)	<p>政務活動による研修</p> <p>【セミナー会場】 名古屋マリオットアソシアホテル 住所：名古屋市中村区名駅1-1-4</p> <p>9:35発 鮫 → (JR八戸線) → 9:59着/10:17発 八戸 → (はやぶさ14号) → 13:04着/13:21発 東京 → (のぞみ379号)</p> <p>14:56着 名古屋 → (移動) → 15:30~18:00 セミナー会場 → (移動) → ホテル</p>	名古屋市内
7月24日 (木)	<p>建設企業常任委員会による行政視察</p>	
7月25日 (金)	<p>(名古屋市 → 福岡市 → 八戸市 移動)</p>	

令和7年8月8日

会派名 新緑・無所属の会  
代表者名 伊藤 圓子 様

氏名 吉田 淳一



### 調査視察等報告書

令和7年7月9日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

- |       |                |
|-------|----------------|
| 1 旅行者 | 吉田 淳一 議員       |
| 2 期間  | 令和7年7月23日（水）   |
| 3 場所  | 愛知県名古屋市        |
| 4 行程  | 鮫～JR～東京～JR～名古屋 |
| 5 支出額 | 36,070円        |
| 6 概要  | 別紙のとおり         |

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号
領収書等貼付欄				

領 収 証

No. 124232

2025年 8月 8日

吉田 淳一 様

金額	¥	36070
----	---	-------

貼 収  
用 入  
印 紙

但し、JR 仙台代と12  
 10%対象(税込) 36070円 0%対象  
 内 消費税 279円 上記の金額正に領収致しました。

現金	✓
小切手	
振込	
クレジット	



登録番号 T1420001005756  
 〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F  
 TEL (0178) 22-5151(代)

扱者印

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

# ご旅行代金明細書

吉田 淳一 様

令和7年7月10日  
北日本トラベル株式会社  
店長 大久保 正人  
青森県八戸市廿三日町4-1  
電話 0178-22-5151  
担当 [REDACTED]  
登録番号 T1420001005756

ご依頼賜りました件につきまして、下記の通り請求させていただきます。  
ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせ頂きます様お願い申し上げます。

参加人員 大人 1名 計 1名  
ご旅行期間 令和7年7月23日  
ご旅行方面 愛知県名古屋市  
行程 ご依頼を頂いた別紙の通りとなります。

総旅行代金 36,070 円

## 明細内訳

項目	人員	台数 人数	ご利用 運賃・料金	小計	区間・備考
JR代	1	25,680		25,680	7/23 鮫~名古屋(片道)
宿泊代	1	10,390		10,390	フォーポイントフレックスbyシェラトン名古屋駅前
明細金額小計				36,070	
取消料					
現地支払代金			△		
明細金額合計				36,070	消費税10% 3,279円

特記事項 宿泊：ダブルルーム 朝付き

## 調査視察報告書

- 1 視察日 令和7年7月23日(水) 15時30分～18時
- 2 内容 八戸セミナー2025
- 3 会場 名古屋マリオットアソシアホテル 16階アイリス  
(名古屋市中村区名駅1-1-4)
- 4 主催 八戸市、八戸港国際物流拠点化推進協議会、八戸市企業誘致促進協議会
- 5 後援 青森県、青森県企業誘致推進協議会、(独)中小企業基盤整備機構東北本部、  
(株)日本政策投資銀行、(独)日本貿易振興機構(ジェトロ)、八戸商工会議所、  
三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町
- 6 参加議員 新緑・無所属の会 吉田 淳一

### 7 セミナー内容

#### ① 熊谷市長挨拶及び八戸市の紹介

熊谷市長から、八戸市の立地環境、八戸市への企業進出、更なる飛躍へのチャレンジ、支援制度の紹介について、それぞれ紹介がなされた。

#### ② 立地企業による講演

朝日インテック株式会社 執行役員社長室室長兼人財開発グループ 大谷 真二郎 氏  
大谷執行役員から、「朝日インテックの事業展開と八戸拠点(東北R&Dセンター)の位置付け」と題して、主に会社概要(販売拠点・研究開発体制の構築・グローバルネットと棲み分け、事業分野等)、産業機器分野から医療機器分野への進出、産業部材・医療部材・OEM供給品の製品、会社の柱であるメディカル事業の製品と医療現場での製品の活躍、技術の優位性と競争力、東北R&Dセンターの開設、センターの事業内容、進出のメリットについてそれぞれ紹介がなされた。

#### ③ 八戸港の紹介

青森県県土整備部港湾空港課 課長 橋本 公学 氏  
橋本課長から、「すごい!八戸港」と題して、八戸港のスペック、コンテナサービス、数字で見る八戸港、カーボンニュートラル、コンテナ利用増に向けて、県の取組、八戸港の状況について、それぞれ紹介がなされた。

#### ④ 情報交換会

16階アイリスにて実施され、18時をもってセミナーが終了となったもの。

## 8 研修総括

今回の八戸セミナー2025は7月23日に名古屋、24日に東京を会場として開催されたものであり、名古屋会場は立地企業、製造関連業、船主、物流関連業、金融機関、地元メディアなど約70名の参加者がおり、製造、港湾関連業をはじめとした多様な業種の方々と名刺交換や情報交換の会話が出来るセミナーとなった。セミナー会場はほぼ満席、後方では記者が取材をするなど参加者の関心の高さがうかがえた。

熊谷市長の八戸の紹介は、安定した気候、陸・海・空の交通アクセスの充実によって産業集積が進み、令和4年度の製造品出荷額等が過去最高の6,112億円、北東北の国際物流拠点八戸港があることの立地環境である点をアピールし、そして更なる飛躍へのチャレンジとして、北インター第2工業団地の特徴と分譲受付開始、モーダルコンビネーション、物流拠点性の可能性、Hachinohe X-tech Innovation 事業等による参入機会の創出を提案しながら、産業都市八戸のさらなる発展の可能性を訴求されていた。当市は、北東北、東北のなかで産業都市として更なる基盤整備が進められ、さらなる産業発展が期待できると思われる。

1976年、朝日インテック株式会社が設立され、誘致企業となった同社の講演では、「医療機器と極細ステンレスワイヤーロープ」に高い技術力を有するメーカーとして、八戸に東北R&Dセンターを開設。治療用カテーテルなどの開発をし、医療現場のPCI治療（経皮的冠動脈形成術）といった治療用カテーテルシステムが売り上げの4割を占める状況下、同センターでは医療機器パーツの金型・射出成形の設計開発を手掛けるなどPCIカテーテルの技術競争力の源泉を支える重要な拠点となっており、地元雇用も20名を超える規模とのことであった。今後も、優秀な人材を育成し、精密加工技術を通じた医療機器開発による地域貢献の強い思いが伝わる講演であった。

青森県県土整備部港湾空港課の橋本課長による八戸港の紹介では、国際コンテナ航路の開設とサービス状況に触れながら、八戸港の輸出入のバランスの良さ、コンテナ取扱量の順調な推移のなかでも中国・韓国航路が伸びていること、近年ではアメリカ向けも伸びていることが特徴であるとのこと。昨今の国際情勢の影響を受けながらも多くの貨物輸送に貢献しているとのこと。また、八戸港のカーボンニュートラルに向けた取組が進められており、令和6年3月22日に「八戸港港湾脱炭素化推進計画」が策定され、CNP認証に向けて取り組んでいくとのことであった。

さらなる事業拡大に向けて、トラックで他港まで輸送されている、他港利用の輸移出入の貨物について、八戸港を利用する新たな物流ルートを構築するためのトライアル輸送に要する経費に補助を行うこと、八戸港を新規に利用する貨物や前年度に他港を利用していた貨物を、八戸港に

シフトする荷主に対する補助などを行うこと、県独自の取組としても、新たにコンテナ利用増に向けて潜在貨物の掘り起こしに力を入れており、充実した補助制度による支援制度と組み合わせることで、八戸港のますますの物流拠点化が期待できるものであった。

#### 所感

今回のセミナーによって、八戸に関心を持つ企業が増え、中部圏からの新たな企業又は事業所の開設のほか、新たな定期航路の開設が増えていくことを期待するものである。八戸の持つポテンシャルの高さを活かしながら、八戸北インター第2工業団地の分譲と立地促進をし、自治体と民間企業が地域経済の発展に取り組むことで、さらなる産業都市の発展に寄与するものであると考えるものである。

第3号様式（第6条、第8条関係）

令和8年1月22日

会派名 新緑・無所属の会  
代表者名 伊藤圓子様

氏名 伊藤圓子  
吉田淳一



調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

- 1 旅行者 伊藤圓子 議員  
吉田淳一 議員
- 2 期間 令和8年2月11日（水）～令和8年2月13日（金）
- 3 場所 大阪府大阪市
- 4 目的及び内容 地方議会議員研究会
- 5 支出可能額（上限額） 196,660円

【内訳は、旅費額計算書（第4号様式）に記載のとおり】

旅費額計算書

【伊藤 圓子 議員】

旅行日程				旅費計算の基礎					
行	日	出発	時刻	区分	基数	単価	金額	備考	
行	2/11	本八戸駅発	8:45	区分	基数	単価	金額	備考	
き	2/11	大阪駅着	15:08						
帰	2/13	大阪駅発	9:09	区分	基数	単価	金額	備考	
	り	2/13	本八戸駅着						15:34
経路・滞在地  別紙のとおり				鉄道運賃	1194.4k	14,080	25,340	本八戸⇄大阪（往復割）	
				急 行 料 金	特	2	6,270	12,540	八戸⇄東京 631.9km
						2	5,280	10,560	東京⇄新大阪 552.6km
						1	△200	△200	閑散期割引(2/11 東京→新大阪)
				急					
				特別車両 料 金		2	5,600	11,200	八戸⇄東京 631.9km
						2	5,400	10,800	東京⇄新大阪 552.6km
				航空運賃					
				連絡バス					
				〃					
				フェリー					
宿泊料		2	13,900	27,800					
				小 計					
				合 計（小計×人数）		98,040	1名		

## 新緑・無所属の会 視察行程

- 日程：令和8年2月11日(水)～13日(金)
- 場所：大阪府大阪市（地方議員研究会セミナー「人口減少時代の自治体経営、大阪市や和泉市で取り組んだこと」）
- 出席者：新緑・無所属の会

【伊藤 圓子 議員】

2月11日 (水)	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">本八戸 8:45</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">JR 八戸線 (11分) 6.1km</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">八戸 8:55 9:05</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">はやぶさ 12号 (183分) 631.9km</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">東京 12:08 12:24</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">のぞみ 365号 (150分) 552.6km</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">新大阪 14:54 15:04</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">JRおおさか 東線・大阪行 (4分) 3.8km</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">大阪 15:08 15:10</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">タクシー (5分) 600m</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">宿泊先 15:15</td> </tr> </table>	本八戸 8:45	JR 八戸線 (11分) 6.1km	八戸 8:55 9:05	はやぶさ 12号 (183分) 631.9km	東京 12:08 12:24	のぞみ 365号 (150分) 552.6km	新大阪 14:54 15:04	JRおおさか 東線・大阪行 (4分) 3.8km	大阪 15:08 15:10	タクシー (5分) 600m	宿泊先 15:15
本八戸 8:45	JR 八戸線 (11分) 6.1km	八戸 8:55 9:05	はやぶさ 12号 (183分) 631.9km	東京 12:08 12:24	のぞみ 365号 (150分) 552.6km	新大阪 14:54 15:04	JRおおさか 東線・大阪行 (4分) 3.8km	大阪 15:08 15:10	タクシー (5分) 600m	宿泊先 15:15		
2月12日 (木)	<p style="text-align: center;"><b>◆13:30～16:00 地方議員研究会セミナー「人口減少時代の自治体経営、大阪市や和泉市で取り組んだこと」</b></p> <p style="text-align: center;">会場：リファレンス大阪駅前第4ビル23階（大阪北区梅田1-11-4） TEL：050-1089-9835（地方議員研究会セミナー事務局）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">宿泊先 13:10</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">徒歩 (6分) 350m</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">地方議員研究会 セミナー 13:30 16:00</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">徒歩 (6分) 350m</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">宿泊先 16:10</td> </tr> </table>	宿泊先 13:10	徒歩 (6分) 350m	地方議員研究会 セミナー 13:30 16:00	徒歩 (6分) 350m	宿泊先 16:10						
宿泊先 13:10	徒歩 (6分) 350m	地方議員研究会 セミナー 13:30 16:00	徒歩 (6分) 350m	宿泊先 16:10								
2月13日 (金)	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">大阪 9:09</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">JRおおさか 東線・久宝寺行 (4分) 3.8km</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">新大阪 9:13 9:33</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">のぞみ 86号 (150分) 552.6km</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">東京 12:03 12:20</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">はやぶさ 21号 (164分) 631.9km</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">八戸 15:04 15:26</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">JR 八戸線 (8分) 6.1km</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">本八戸 15:34</td> </tr> </table>	大阪 9:09	JRおおさか 東線・久宝寺行 (4分) 3.8km	新大阪 9:13 9:33	のぞみ 86号 (150分) 552.6km	東京 12:03 12:20	はやぶさ 21号 (164分) 631.9km	八戸 15:04 15:26	JR 八戸線 (8分) 6.1km	本八戸 15:34		
大阪 9:09	JRおおさか 東線・久宝寺行 (4分) 3.8km	新大阪 9:13 9:33	のぞみ 86号 (150分) 552.6km	東京 12:03 12:20	はやぶさ 21号 (164分) 631.9km	八戸 15:04 15:26	JR 八戸線 (8分) 6.1km	本八戸 15:34				

大阪市内泊

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅 費 額 計 算 書

【吉田 淳一 議員】

旅 行 日 程				旅 費 計 算 の 基 礎				
行	日	出発	到着	区 分	基 数	単 価	金 額	備 考
行	2/11	鮫駅発	8:32	区 分				
き	2/11	大阪駅着	15:08	早見表				
帰	2/13	大阪駅発	9:09					
り	2/13	鮫駅着	15:50					
経路・滞在地					1201.3k	14,410	25,920	鮫⇔大阪（往復割）
別紙のとおり				鉄道運賃				
				急	2	6,270	12,540	八戸⇔東京 631.9km
				特	2	5,280	10,560	東京⇔新大阪 552.6km
					1	△200	△200	閑散期割引(2/11東京→新大阪)
				急				
				特別車両	2	5,600	11,200	八戸⇔東京 631.9km
				料 金	2	5,400	10,800	東京⇔新大阪 552.6km
				航空運賃				
				連絡バス				
				＃				
				フェリー				
				宿泊料	2	13,900	27,800	
				小 計				
				合 計（小計×人数）			98,620	1名

# 新緑・無所属の会 視察行程

- 日程：令和8年2月11日(水)～13日(金)
- 場所：大阪府大阪市（地方議員研究会セミナー「人口減少時代の自治体経営、大阪市や和泉市で取り組んだこと」）
- 出席者：新緑・無所属の会

【吉田 淳一 議員】

2月11日 (水)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">鮫</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">8:32</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">JR 八戸線</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">八戸</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">はやぶさ 12号</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">東京</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">のぞみ 365号</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">新大阪</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">JRおおさか 東線・大阪行</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">大阪</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">タクシー</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">宿泊先</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">(23分)</td> <td style="text-align: center;">8:55 9:05</td> <td style="text-align: center;">(183分)</td> <td style="text-align: center;">12:08 12:24</td> <td style="text-align: center;">(150分)</td> <td style="text-align: center;">14:54 15:04</td> <td style="text-align: center;">(4分)</td> <td style="text-align: center;">15:08 15:10</td> <td style="text-align: center;">(5分)</td> <td style="text-align: center;">15:15</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">13.0km</td> <td></td> <td style="text-align: center;">631.9km</td> <td></td> <td style="text-align: center;">552.6km</td> <td></td> <td style="text-align: center;">3.8km</td> <td></td> <td style="text-align: center;">600m</td> </tr> </table>							鮫	8:32	JR 八戸線	八戸	はやぶさ 12号	東京	のぞみ 365号	新大阪	JRおおさか 東線・大阪行	大阪	タクシー	宿泊先			(23分)	8:55 9:05	(183分)	12:08 12:24	(150分)	14:54 15:04	(4分)	15:08 15:10	(5分)	15:15				13.0km		631.9km		552.6km		3.8km		600m
鮫	8:32	JR 八戸線	八戸	はやぶさ 12号	東京	のぞみ 365号	新大阪	JRおおさか 東線・大阪行	大阪	タクシー	宿泊先																																
		(23分)	8:55 9:05	(183分)	12:08 12:24	(150分)	14:54 15:04	(4分)	15:08 15:10	(5分)	15:15																																
			13.0km		631.9km		552.6km		3.8km		600m																																
2月12日 (木)	<p style="text-align: center;"><b>◆13:30～16:00 地方議員研究会セミナー「人口減少時代の自治体経営、大阪市や和泉市で取り組んだこと」</b></p> <p style="text-align: center;">会場：リブアレンス大阪駅前第4ビル 23階（大阪市北区梅田1-11-4） TEL：050-1089-9835（地方議員研究会 セミナー事務局）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">宿泊先</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">13:10</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">徒歩</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">地方議員研究会 セミナー</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">徒歩</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">宿泊先</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">(6分)</td> <td style="text-align: center;">13:30 16:00</td> <td style="text-align: center;">(6分)</td> <td style="text-align: center;">16:10</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">350m</td> <td></td> <td style="text-align: center;">350m</td> </tr> </table>							宿泊先	13:10	徒歩	地方議員研究会 セミナー	徒歩	宿泊先			(6分)	13:30 16:00	(6分)	16:10				350m		350m																		
宿泊先	13:10	徒歩	地方議員研究会 セミナー	徒歩	宿泊先																																						
		(6分)	13:30 16:00	(6分)	16:10																																						
			350m		350m																																						
2月13日 (金)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">大阪</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">9:09</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">JRおおさか 東線・久玉寺行</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">新大阪</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">のぞみ 86号</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">東京</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">はやぶさ 21号</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">八戸</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">JR 八戸線</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">鮫</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">(4分)</td> <td style="text-align: center;">9:13 9:33</td> <td style="text-align: center;">(150分)</td> <td style="text-align: center;">12:03 12:20</td> <td style="text-align: center;">(164分)</td> <td style="text-align: center;">15:04 15:26</td> <td style="text-align: center;">(24分)</td> <td style="text-align: center;">15:50</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">3.8km</td> <td></td> <td style="text-align: center;">552.6km</td> <td></td> <td style="text-align: center;">631.9km</td> <td></td> <td style="text-align: center;">13.0km</td> </tr> </table>							大阪	9:09	JRおおさか 東線・久玉寺行	新大阪	のぞみ 86号	東京	はやぶさ 21号	八戸	JR 八戸線	鮫			(4分)	9:13 9:33	(150分)	12:03 12:20	(164分)	15:04 15:26	(24分)	15:50				3.8km		552.6km		631.9km		13.0km						
大阪	9:09	JRおおさか 東線・久玉寺行	新大阪	のぞみ 86号	東京	はやぶさ 21号	八戸	JR 八戸線	鮫																																		
		(4分)	9:13 9:33	(150分)	12:03 12:20	(164分)	15:04 15:26	(24分)	15:50																																		
			3.8km		552.6km		631.9km		13.0km																																		

大阪市内泊

令和8年3月23日

会派名 新緑・無所属の会  
代表者名 伊藤圓子様

氏名 伊藤圓子  
吉田淳一



### 調査視察等報告書

令和8年1月22日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

- |       |                           |
|-------|---------------------------|
| 1 旅行者 | 伊藤圓子 議員<br>吉田淳一 議員        |
| 2 期間  | 令和8年2月11日（水）～令和8年2月13日（金） |
| 3 場所  | 大阪府大阪市                    |
| 4 行程  | 別紙のとおり                    |
| 5 支出額 | 166,080円                  |
| 6 概要  | 別紙のとおり                    |

# 新緑・無所属の会 視察行程

- 日程：令和8年2月11日(水)～13日(金)
- 場所：大阪府大阪市（地方議員研究会セミナー「人口減少時代の自治体経営、大阪市や和泉市で取り組んだこと」）
- 出席者：新緑・無所属の会

【伊藤 圓子 議員】

2月11日 (水)	<table border="1"> <tr> <td>本八戸 8:45</td> <td>JR 八戸線 (11分) 6.1km</td> <td>八戸 8:55 9:05</td> <td>はやぶさ 12号 (183分) 631.9km</td> <td>東京 12:08 12:24</td> <td>のぞみ 365号 (150分) 552.6km</td> <td>新大阪 14:54 15:04</td> <td>JRおおさか 東線・大阪行 (4分) 3.8km</td> <td>大阪 15:08 15:10</td> <td>タクシー (5分) 600m</td> <td>泊先 15:15</td> </tr> </table>	本八戸 8:45	JR 八戸線 (11分) 6.1km	八戸 8:55 9:05	はやぶさ 12号 (183分) 631.9km	東京 12:08 12:24	のぞみ 365号 (150分) 552.6km	新大阪 14:54 15:04	JRおおさか 東線・大阪行 (4分) 3.8km	大阪 15:08 15:10	タクシー (5分) 600m	泊先 15:15
本八戸 8:45	JR 八戸線 (11分) 6.1km	八戸 8:55 9:05	はやぶさ 12号 (183分) 631.9km	東京 12:08 12:24	のぞみ 365号 (150分) 552.6km	新大阪 14:54 15:04	JRおおさか 東線・大阪行 (4分) 3.8km	大阪 15:08 15:10	タクシー (5分) 600m	泊先 15:15		
2月12日 (木)	<p>◆13:30～16:00 地方議員研究会セミナー「人口減少時代の自治体経営、大阪市や和泉市で取り組んだこと」 会場：リファレンス大阪駅前第4ビル23階（大阪市北区梅田1-11-4） TEL：050-1089-9835（地方議員研究会 セミナー事務局）</p> <table border="1"> <tr> <td>泊先 13:10</td> <td>徒歩 (6分) 350m</td> <td>地方議員研究会 セミナー 13:30 16:00</td> <td>徒歩 (6分) 350m</td> <td>泊先 16:10</td> </tr> </table>	泊先 13:10	徒歩 (6分) 350m	地方議員研究会 セミナー 13:30 16:00	徒歩 (6分) 350m	泊先 16:10						
泊先 13:10	徒歩 (6分) 350m	地方議員研究会 セミナー 13:30 16:00	徒歩 (6分) 350m	泊先 16:10								
2月13日 (金)	<table border="1"> <tr> <td>大阪 9:09</td> <td>JRおおさか 東線・久宝寺行 (4分) 3.8km</td> <td>新大阪 9:13 9:33</td> <td>のぞみ 86号 (150分) 552.6km</td> <td>東京 12:03 12:20</td> <td>はやぶさ 21号 (164分) 631.9km</td> <td>八戸 15:04 15:26</td> <td>JR 八戸線 (8分) 6.1km</td> <td>本八戸 15:34</td> </tr> </table>	大阪 9:09	JRおおさか 東線・久宝寺行 (4分) 3.8km	新大阪 9:13 9:33	のぞみ 86号 (150分) 552.6km	東京 12:03 12:20	はやぶさ 21号 (164分) 631.9km	八戸 15:04 15:26	JR 八戸線 (8分) 6.1km	本八戸 15:34		
大阪 9:09	JRおおさか 東線・久宝寺行 (4分) 3.8km	新大阪 9:13 9:33	のぞみ 86号 (150分) 552.6km	東京 12:03 12:20	はやぶさ 21号 (164分) 631.9km	八戸 15:04 15:26	JR 八戸線 (8分) 6.1km	本八戸 15:34				

大阪市内泊

# 新緑・無所属の会 視察行程

- 日程：令和8年2月11日(水)～13日(金)
- 場所：大阪府大阪市(地方議員研究会セミナー「人口減少時代の自治体経営、大阪市や和泉市で取り組んだこと」)
- 出席者：新緑・無所属の会

【吉田 淳一 議員】

2月11日 (水)	<table border="1"> <tr> <td>鮫</td> <td>8:32</td> <td>JR 八戸線 (23分) 13.0km</td> <td>八戸</td> <td>8:55 9:05</td> <td>はやぶさ 12号 (183分) 631.9km</td> <td>東京</td> <td>12:08 12:24</td> <td>のぞみ 365号 (150分) 552.6km</td> <td>新大阪</td> <td>14:54 15:04</td> <td>JRおおさか 東線・大阪行 (4分) 3.8km</td> <td>大阪</td> <td>15:08 15:10</td> <td>タクシー (5分) 600m</td> <td>宿泊先</td> <td>15:15</td> </tr> </table>	鮫	8:32	JR 八戸線 (23分) 13.0km	八戸	8:55 9:05	はやぶさ 12号 (183分) 631.9km	東京	12:08 12:24	のぞみ 365号 (150分) 552.6km	新大阪	14:54 15:04	JRおおさか 東線・大阪行 (4分) 3.8km	大阪	15:08 15:10	タクシー (5分) 600m	宿泊先	15:15
鮫	8:32	JR 八戸線 (23分) 13.0km	八戸	8:55 9:05	はやぶさ 12号 (183分) 631.9km	東京	12:08 12:24	のぞみ 365号 (150分) 552.6km	新大阪	14:54 15:04	JRおおさか 東線・大阪行 (4分) 3.8km	大阪	15:08 15:10	タクシー (5分) 600m	宿泊先	15:15		
2月12日 (木)	<p>◆13:30～16:00 地方議員研究会セミナー「人口減少時代の自治体経営、大阪市や和泉市で取り組んだこと」 会場：リファレンス大阪駅前第4ビル 23階(大阪市北区梅田1-11-4) TEL:050-1089-9835(地方議員研究会 セミナー事務局)</p> <table border="1"> <tr> <td>宿泊先</td> <td>13:10</td> <td>徒歩 (6分) 350m</td> <td>地方議員研究会 セミナー</td> <td>13:30 16:00</td> <td>徒歩 (6分) 350m</td> <td>宿泊先</td> <td>16:10</td> </tr> </table>	宿泊先	13:10	徒歩 (6分) 350m	地方議員研究会 セミナー	13:30 16:00	徒歩 (6分) 350m	宿泊先	16:10									
宿泊先	13:10	徒歩 (6分) 350m	地方議員研究会 セミナー	13:30 16:00	徒歩 (6分) 350m	宿泊先	16:10											
2月13日 (金)	<table border="1"> <tr> <td>大阪</td> <td>9:09</td> <td>JRおおさか 東線・久宝寺行 (4分) 3.8km</td> <td>新大阪</td> <td>9:13 9:33</td> <td>のぞみ 86号 (150分) 552.6km</td> <td>東京</td> <td>12:03 12:20</td> <td>はやぶさ 21号 (164分) 631.9km</td> <td>八戸</td> <td>15:04 15:26</td> <td>JR 八戸線 (24分) 13.0km</td> <td>鮫</td> <td>15:50</td> </tr> </table>	大阪	9:09	JRおおさか 東線・久宝寺行 (4分) 3.8km	新大阪	9:13 9:33	のぞみ 86号 (150分) 552.6km	東京	12:03 12:20	はやぶさ 21号 (164分) 631.9km	八戸	15:04 15:26	JR 八戸線 (24分) 13.0km	鮫	15:50			
大阪	9:09	JRおおさか 東線・久宝寺行 (4分) 3.8km	新大阪	9:13 9:33	のぞみ 86号 (150分) 552.6km	東京	12:03 12:20	はやぶさ 21号 (164分) 631.9km	八戸	15:04 15:26	JR 八戸線 (24分) 13.0km	鮫	15:50					

大阪市内泊

領収書等貼付用紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	2
領収書等貼付欄					

領 収 証

No.124825

2/18

2026年2月8日

新緑無所属の会  
伊藤 圓子 様

金額	¥	82830
----	---	-------



但し 2/11~13 JR 橋本駅とR  
10%対象(税込) 82830円 0%対象  
内 消費税 7530円 上記の金額正に領収致しました。

現金	✓
小切手	
振込	
クレジット	



〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F  
TEL (0178) 22-5151(代)

扱者印

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

# ご旅行代金明細書

伊藤 圓子 様

令和8年1月15日

北日本トラベル株式会社

店長 大久保 雅人

青森県八戸市廿三

電話 0178-22-5151

担当

登録番号 T1420001005756

ご依頼賜りました件につきまして、下記の通り請求させていただきます。  
ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせ頂きます様お願い申し上げます。

参加人員 大人 1名 計 1名  
ご旅行期間 令和8年2月11日(水)～2月13日(金)  
ご旅行方面 大阪府大阪市  
行程 ご依頼を頂いた別紙の通りとなります。

総旅行代金 82,830 円

## 明細内訳

項目	人員		台数 人数	ご利用 運賃・料金	小計	区間・備考
JR代	1	55,480			55,480	本八戸～東京～大阪(往復)
宿泊代	1	27,350			27,350	2/11.12 アパホテルリゾート大阪梅田駅タワー
明細金額小計					82,830	
取消料						
現地支払代金				△		
明細金額合計					82,830	消費税10% 7,530円

特記事項 大阪市宿泊税別途400円 現地支払

領収書等貼付用紙

項目		費目		整理番号	2
領収書等貼付欄					

領 収 証


No.124826


2026年2月18日

新緑、無所属の会  
吉田 淳一 様

金額	¥	83250
----	---	-------


但し 1/11~13 7R 店前付 2/12  
10%対象(税込) 83250円 0%対象 (大阪府入庫)  
内 消費税 2568円 上記の金額正に領収致しました。





〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F  
TEL (0178) 22-5151(代)

現金	✓
小切手	
振込	
クレジット	

収者印	
-----	---

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

# ご旅行代金明細書

吉田 淳一 様

令和8年1月15日

北日本トラベル株式会社

店長 大久保 正人

青森県八戸市廿三

電話 0178-22-5151

担当 [REDACTED]

登録番号 T1420001005756

ご依頼賜りました件につきまして、下記の通り請求させていただきます。  
ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせ頂きます様お願い申し上げます。

参加人員 大人 1名 計 1名  
ご旅行期間 令和8年2月11日(水)～2月13日(金)  
ご旅行方面 大阪府大阪市  
行程 ご依頼を頂いた別紙の通りとなります。

総旅行代金 83,250 円

## 明細内訳

項目	人員		台数 人数	ご利用 運賃・料金	小計	区間・備考
JR代	1	55,900			55,900	鮫～東京～大阪(往復)
宿泊代	1	27,350			27,350	2/11.12 アパホテルリゾート大阪梅田駅タワー
明細金額小計					83,250	
取消料						
現地支払代金				△		
明細金額合計					83,250	消費税10% 7,568円

特記事項 大阪市宿泊税別途400円 現地支払

# 人口減少時代の自治体経営

— 大阪市と和泉市で取り組んだこと —

講師 吉田 康人

開催日時 2026年2月12日 13:30~16:00

開催場所 大阪市 大阪駅前第4ビル 23階

研修会講師  
吉田 康人  
和泉市前副市長 (R3~R7)  
元高槻市議会議員  
(株)自治体総研 専任講師  
地方議員研究会 講師

吉田 康人



YOSHIDA Yasuto

TEL

HP <https://yoshidavasuto.jp/>

e-mail

1.

1. はじめに
- 地方創生施策推進 (地方創生交付金)
    - ① R5に「デジタル田園都市国家構想交付金
    - ② R6に「新しい地方経済・生活環境創生交付金」(第2世代交付金)
    - ③ R8に「地域未来交付金」1600億円 (R7年度当初算2000億円R8年400億減)
  - ① α 交付金 1000億円
  - ② α 交付金 「地方創生2.0」2000億円
  - ③ α 交付金 1600億円

地方創生推進と国交交付金は岸田内閣、石破内閣、高市内閣と変わりに従い、名称も変更され交付金額も大幅に増減している。

○ 名称と変更、交付金を増額し、地方創生と国交施策を構ってきたが、少子高齢化、人口減少は留めどなく進む。加えて地方には、人口流出に歯止めが

かからず、東京一極集中が止まらない。  
価値観の多様化時代、人口減少の流れは止まらない。  
地方にはむしろ人の移動、特に人の流入の促進を求められ、AI・DXによる社会構築。必要は、地方自治の基本的方向性が重要。  
少子高齢社会における経済7P7Qへの有識者研究をすすめる。

○ 自身の副市長等行政全般にわたる現場で、自治体経営に持続可能な行政とすべく取り組んできた。  
従前の歳入中心の行政は、行政は基本計画を軸に回すことだが、計画の取組が非常に多いことだ。  
PDCAを回す文化が必要。

## 2. 持続可能な強靱な行政をつくるために取り組んで来ていること

(資料 p13~)

### (1) 基本計画の改革 (例 和泉市)

- 「第5次和泉市地域福祉基本・活動計画」等、各基本計画の中核を軸に
- ・計画策定方針を明確にし、「見える化」し、自助、共助、公助の連携、役割分担を明確にする。
- ・策定方針は、外部有識者らによる「福祉アドバイザー」等を通じて協議。
- ・策定方針と前提としたアンケート調査と外部審議した。

- 今次の計画の見直しポイント
- ・特に、「自助」「共助」「公助」の連携、役割分担を明確にした。
- ・「計画」を毎年度見直しを繰り返す。

### (2) 人事給与制度改革 (例 和泉市)

- 人材育成と処遇
- ・10年間の改革の道筋。現場の業務の仕分けを軸に中心。
- ・評価制度を明確にして評価に基づき、職員評価をしいと抜本的改革は成し得ない。
- ・市職員の給与に際し、市民に課題意識を促す。市民に人事給与制度改革の必要性の理解を得ることはなかなか難しい。
- ・市長から「職員の仕事に見合う給与制度をつくりたい」と宣言。市職員としての理想像に合致していることが、人材育成に

必要有。

- ガンバル職員が報知による制度への理解、成果を出すという点。
- ・改革により、さらなる地方公務員の理想像を見直し人材育成を図る。

### ○可成り

- ・政策決定プロセスを重視
- ・懇話会の進め方  
懇話会以下、和泉市発の市民会議を要望する。  
懇話会には外部有識者(学識者、他市前首長)と報知副社長、人事課職員等、11名で構成  
この審議は、白紙から始める。外部有識者の意見を集約し、これをもとに議論の論点を修正する。これをもとに審議会の初年事務局長へのお墨付を承認し、これをもとに役割を分任し、各委員は異なる。

### (3) 学校教育と福祉 (資料 p14~)

#### ○大阪市

- ・14~15年からの学校教育と福祉との連携を図る。
- ・教育(学力)と福祉(生活環境)の両側性のバランス、市長と教育委員会の連携等と課題にし、具体的な施策と実行の仕組みについて取り組む。
- ・施策の例  
△「こどもサポートネット」の活用  
最近では「子育て連携」(議会等)  
△ICT駆使  
△市長と市教委の連携の仕組み

(4) 「住民の意識調査」の改革  
○ 改革の必要性  
・ 従来型の「住民意識調査」  
による「平均的な住民」像には  
限界がある。(現実には存在しない)  
「包摂社会」における多様性を  
「住民調査」へ改革が必要。

・ 平均値よりもセグメント毎の  
データを重視する。  
・ データ調査は可視化・分析の役割  
を担っており、深層の可視化が  
同じ。また、他自治体との  
比較をするという文化がない。

資料 p30

○ 「幸福度」のポイント  
・ 自問「幸せ」かどうかが参考になる  
特に重要なポイントは？ (1) (2) (3)  
① 性・年齢別 ② 幸福度のポイント × 幸福感  
全体 (平均値) をみれば「経済」  
から出ている。年次別で見てみれば  
「やりがい」「ワークライフバランス」  
価値観の多様化が反映されて  
いることが明確。  
特に、住居地域においても幸福  
度のポイントが異なる。

資料 p33

○ 「市行政の満足度」×「幸福度」  
市政に満足している人は  
幸福度が高い。  
よって職員への頑張りを喚起する。

(5) 「地域包括支援センター認知・利用状況」  
資料 p35 ○ 地域包括支援センター認知度  
・ センターにより異なる  
・ ヘルパー・ボランティアの人手不足  
の課題も大きい。  
よって支援センターの認知度を高める  
必要がある。

(6) 「家族や医療・介護関係者との  
関係性」  
資料 p41 ○ 人生の最終段階における医療・介  
護のケアに関して、話し合  
うことが大切。  
・ 20代は話し合っていないが、30代が  
最も多い。つまり、若年と高齢  
者の間で話し合っている。  
・ 居住地域においても差が出ており、  
上記の差の要因について  
さらなる分析・考察が必要。  
・ 取組別でも、南と北があり、その  
原因についてさらなる調査が  
必要 (給付所得者は多い)

○ ACP (人生会議) 促進の方法  
論を検討する。  
特に30代において、話し合  
いので対策が必要。

(7) 住民意識調査の課題  
資料 p42 ○ 今回の調査の課題  
住民意識調査により、今回分ったことと  
分らなかったことの目録を  
住民意識調査報告に掲載する。  
集計数値を出しただけでは  
その理由の分析をしないと意味が  
ない。

(8) 資料 P50

災害時要援護者支援システムの構築

- 災害時に備えることで、平時のレジリエンス
- ・ 平時のレジリエンスの再構築と強化
- ・ 有界と平時のシステムの一体化
- ・ 自助、公助の限界にせよ、ネットの構築
- ※ 自助、共助を行政が強化。住民に「公助は何ができるか」と反感、不信感を抱かれることあり。これは、公は自助共助を公助する(連携する)と言うことで理解を促す。
- ・ 地域組織の再構築が重要。具体的に言えば、地域福祉を福祉の観点の4つではダメで、人間の尊厳の問題として人権福祉部からつくられていく必要がある。

(10) 「福祉的措置」から「ウェルビーイング(健康)」への最大化  
資料 P58

- 和泉市 Well-Being 推進ビジョンを令和7年3月に策定
- ・ 「健康」から「健康」への具体的な取組みとして、169人/バーンエ場にて、市長直轄のウェルビーイング推進会議(産官NPO)を設置し推進ビジョンを策定
- 静岡県三島市「スマートウェルネスみらい」資料 P62  
・ スマートウェルネスを推進する5つの指針を掲げ、「令和7年度2025-2027年度」のアクションプランを策定。
- 埼玉県戸田市(ゼロ次)予防型「まごころ」資料 P65  
・ 個人への介入から「社会環境への介入(ゼロ次予防)へ」
- ・ 「戸田市スマートウェルネスエクスプレス(SWC)推進プラン」策定

(9) 資料 P57

「女性特有の健康課題」克服

- 経済成長戦略としてこの克服は労働損失、生産性低下による経済損失は3.4兆円(2024年)にも及びることから重要である。
- ・ 50年代の女性の肥満の減りにより、日本全体の女性は「ヤセ過ぎ」である。これは糖尿病のリスクを高め、妊婦の死亡のリスクがある。
- ・ 量産不足もあり、産例は55%以下に落ちる。
- 経営者の低意識を改める必要がある。

(11) 労働者のスキルに関する日本調査

- スキル習得意欲率 日本 29.3%  
英国 5.7%
- 企業スキル習得支援策 特におし 日本 22.7%  
英国 2.0%
- 労働者・企業双方のスキルに不足する意識に日本と英国との差が明確に。

## (12) 行政・自治体の取り組み情報入手先

資料  
P77

- 性別・年齢別
  - ・ 全体では、広報次の市公式SNS・X
  - ・ 30代未満女性のみ市公式SNS・XかつT
  - ・ 30~49才では男女共に2番目SNS・X
  - ・ 60代女性、50代男性市H.P.が2番目に多い。
- デジタル社会と合わせて広報。
  - ・ 主手続の現状は、10代、20代の調査が必ず行われている。
- 小学校区別 (22校区)
  - ・ 22校区中2校区を除き広報かつT
  - ・ 2校区は、他刊の刊広報に比べSNS・XとH.P.の割合が分散している。
- 地域・性別・住居の年齢・取組の傾向を反映していることがわかる。
- 職業別
  - ・ 全体は60%の広報かつT
  - ・ 調査対象外で広報かつT
- 近代媒体広報紙のエリア別には、T、T、T。最近10年間の傾向は、SNS・XとH.P.がデジタル傾向が顕著であるかは未知。

### <所感>

- 少子高齢化、人口減少の現状を直視し、人口減少下の地域性を図るために、自治体経営に主眼を置いた研修であった。
- 講師の前和泉副市長吉田氏(区長も議員を兼ね民間企業等々多彩な経歴を持ち豊富な知見を有する方である。
- 特に、副市長時は「包摂社会」を念頭に、様々な改革に携わり、持続可能な強靱な行政づくりに尽力した。
- 興味の深いのは、「人事給与制度改革」。  
取給給原則の反映の不十分であり、むしろ職員像暗化に矛盾する人材育成と評価制度の両輪を回す改革だ。人材育成基本方針(取費像)を改訂し、がんばる職員を報われる制度とした。  
具体的改訂については、資料のp18を参照。
- 特に、学校教育と福祉(市長部局)との連携、市長と市教委の連携、それぞれ仕組みづくりを図る。  
具体的施策は、「ニビキレポートネットワーク」の強化と「双方のチカラ連携」による現状認識、課題共有を図る。  
ただし、個人情報観点に配慮の求められる。

児童手当の支給状況はほぼ一共有とありと考えている。  
今後、どこまで連携できるか、協議を重ねていく。

- 「包摂社会」における自治体経営のために、さかの湖から「住民調査」を実施した。  
平均人市民は存在しないとして統計上の存在だ。包摂社会において一人一人の行政に満足度と幸福度を高く実感できるように、住民調査の実施を位置付けている。
- 市民の行政への満足度が高いと幸福度が高いという相関関係が明確だという。
- 和泉市の取組みを主筆として吉田氏の講話は、具体的に今日のこの地域自治体で取組まなければならない内容で、大変参考になった。

(河津園子記)